



まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版



令和2年6月1日号
発行
かながわ
1区支部
発行責任者
平木 茂
6 月号
2020年
No.210

松本純ホームページ 毎日更新中! <https://jun.or.jp/> ▶ 検索キーワード「松本純」

緊急事態宣言解除！第二次補正で支援の充実へ

新型コロナウイルス感染対策 急がれる治療薬の確立とワクチン開発

新型コロナウイルス問題 皆様に多大なるご心配をおかけしております。政府与党としては様々な緊急経済対策を用意し、随時対処しているところですが、至らぬ点も多く、多くのお叱りの声をいただいております。皆様の声を反映しながら、より使いやすくより早い支給や運用を目指し、連日対応させていただいております。

また、現在、支援をさらに充実させるための第二次の補正の成立に向けて、連日与党内と政府で議論を交わしているところです。また、今回の問題で明らかになった制度上の問題等に関しても、丁寧かつ迅速に法改正を含めた早急な改善を図ってまいります。



日本薬剤師会山本信夫会長から医薬品提供体制の崩壊を招かぬよう、要望を受ける松本純代議士

最新の情報は新型コロナウイルス感染症に備えて～一人ひとりができる対策を知っておこう～
<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html> でご覧いただけます

同時進行の形でできるだけ早い治療薬の確立とワクチンの開発を進めております。

治療薬に関しては、5月7日米国ギリアド社のレムデシビルを特例承認し、すでに一部で治療に利用されている富山化学のアビガンについても早期の特例承認が行われる予定です。また、オルベスコ（帝人ファーマ）、フサン（日医工）も改善例がみられており、国内外で治験が続けられる予定になっています。また、原薬を含めた内製化（国内生産）をできる体制作りも始まっています。

ワクチンに関しても、100億円の政府支援の下、国内3研究機関で研究が進められており、現在基礎研究段階ではありますが、早ければ7月頃には治験に入る予定になっています。

また、日本政府は CEPI（感染量流行対策イノベーション連合）を通じて、海外研究機関への支援（年2500万ドルの通常予算に加え補正で100億円）と連携を強めており、安全第一ではありますが、できるだけ早く皆様に提供できるように体制を整えております。

皆様にできるだけ早い安心をお届けするために、今後も最大限の努力を続けていきます。松本としては、薬のプロとしてこれを支えてゆきたいと考えます。

いま地域で
 (人・まち・出来事)

もし今、磯子区に大災害が発生したら…

磯子区災害ボランティアネットワーク代表 森本美知子さん(磯子区)

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、夏ともなれば、台風や大雨、また地震など自然災害への備えも欠かせません。もし今、磯子区に大災害が発生したら……。そんな時頼りになるのが「磯子区災害ボランティアネットワーク」(以下災ボラ)です。災ボラは、被災地の最前線で、駆け付けてくれたボランティアたちを受け入れ、行政・社会福祉協議会と連携し、的確なボランティア派遣を担います。わが国のボランティア元年と言われる阪神淡路大震災、全国から多くのボランティアが駆けつけても「何をしてもらえばいいのかわからない」と行政が途方にくれた教訓があります。それ以降、横浜でもボランティア団体間の相互交流が活発化、磯子区では平成18年にボランティアを受け入れる「磯子区災害ボランティアネットワーク」が設立、誕生したのです。

「町内会婦人部の知人の薦めで区の防災ライセンスを取得したのがきっかけでした」と語るのは代表の森本美知子さん。災害救助への必要性から救命救急や災害アマチュア無線の資格なども取得、昨年の金沢区福浦の工業団地の台風災害の救助にも参加しました。「新型コロナウイルスへの対応を含め、地域が災害意識を高めることが急務です。若い人達と一緒に地域の防災意識を育んでいきたいですね」と真摯に話してくださいました。



前列中央が森本会長

[2020年5月]

松本議員の活動記録

- 4日●議院運営委員会与党理事懇談会
- 7日●予算委員会与党理事懇談会
 ●厚生労働省説明(薬事・食品衛生審議会医薬品第二部会について)
 ●日本薬剤師会説明(加藤勝信厚生労働大臣あての要望書について)
- 8日●国会対策正副委員長打合せ
- 11日●与野党国会対策委員長会談後の森山裕委員長ぶら下がり
- 12日●消費者庁説明(消費者白書について)

- 14日●本会議(趣旨説明・質疑◎復興庁設置法改正案)
 ●日本薬剤師会説明
- 15日●厚生労働省説明(新型コロナウイルス感染症対応対策に関する令和2年度第2次補正予算についての考え方について)
 ●本会議(趣旨説明・質疑◎公益通報者保護法改正案)
- 20日●財務省説明(第2次補正予算等の現状について)



5/4 ぶら下がり記者ブリーフ
 ●与野党国会対策委員長会談後、5月11日午前、衆議院、午後、参議院の予算委員会で、緊急事態宣言延長に関し集中審議が行われることなどが森山国会対策委員長から報告されました。



5/8 国会対策正副委員長打合せ
 ●森山裕委員長は正副打合せで、審議を行い議決することが大事と挨拶。担当副委員長からは予算委員会、衆参委員会等の協議状況報告が行われました。



5/11 アマビエ●話題の疫病封じのアマビエの置物をいただき贈って下さった方の優しさに穏やかな気持ちになりました「豊作や疫病に関し予言、疫病は封じ込めたりする」と言われています。



5/14 日本薬剤師会説明●日本薬剤師会山本会長などから要望書をいただき、薬局の調剤対応に対し調剤技術料総額の減という問題に直面しており、その対応の要請を受けました。

永田町日記

多謝！台湾

今回のコロナ禍に際し、松本とご縁がある台湾の方々から、神奈川県病院協会に対して、1万着のレインコートを台湾で調達し寄贈いただきました。このレインコートですが、防護着の上から着用するのに適したものとこのことです。また、できるだけ早く届いてほしいとのお気持ちから航空便の手配と費用までご負担いただきました。松本からのお礼の電話の中で、代表の呉氏は『今の自分があるのは日本への留学と助けてくれた沢山の日本人のおかげです。少しでもお役にたてたら本当にうれしい。私の一番好きな日本語は「お互い様」です』とのメッセージを頂きました。また、寄贈を受けた神奈川県病院協会からは「寄贈いただいたレインコートは神奈川県を通して、最も重症患者を扱っている最前線の12の病院に届けられました。ご尽力くださった、先生方に改めて深く感謝いたします」とのお言葉をいただきました。

寄贈いただいた皆様
 社団法人
 台湾日本語協会の
 皆さん
 (写真中央)
 理事長 呉 其哲
 生機生技股份有限公司
 (写真左)
 連佩瑩董事長
 (写真右)
 黃怡翔總經理
 (写真なし)
 高堯楷醫師



受領の様子
 (写真左)
 病院協会会長
 新江良一先生
 (写真中央)
 病院協会事務局長
 木村博嗣氏

